

VI. 研究

1. 研究活動

(1) 研究業績

1) 研究業績基準

<著書>

(1 1 学術書) 博士論文、単・共・編著を問わないが直接執筆に参加した専門書。編者のみの場合は(1 2 その他)とする。

(1 2 その他) 学術書以外の専門分野の著書(教科書、入門書、啓蒙書等)。

<学術論文(原著論文)>

(2 1 学会誌) 学会誌及び専門誌等で査読を受けた論文。

(2 2 紀 要) 査読を受けた紀要論文。査読を受けない論文は(2 3 その他)とする。

(2 3 その他) 上記以外の学術論文。

<学術論文(総説)>

(2 4 総 説) 学会誌や専門誌などに掲載された総説、解説、展望等。

<翻訳>

(3 1 学術書) 専門書及び専門分野における教科書、入門書等。

(3 2 その他) 専門分野以外の翻訳書。

<作品及び演奏発表等>

(4 1 作品及び演奏発表等)

情報処理による絵、音楽等の作品で公的に発表されたもの。

体育・スポーツの分野における作品で公的に発表されたもの。

(例：ダンス、体操などの発表)

<学会記録>

(5 1 一般発表) 学会及び各種学術研究会での発表で記録に残るもの。

(5 2 特別講演)

(5 3 シンポジウム、パネル)

(5 9 その他)

<口頭発表 記録に残らないもの>

(6 1 一般発表) 学会及び各種学術研究会での発表で、その内容は記録に残らないが発表年月日・機関・題目が残るもの。

(6 2 一般発表)

(6 3 シンポジウム、パネル)

(6 9 その他)

<その他の文筆活動>

(7 1 その他の文筆活動)

公的に発刊された出版物に掲載された著作で、専門・専門外を問わないが業績としてふさわしい水準のもの。

<その他>

(8 1 症例研究(医))

(8 9 その他) 上記の全ての業績区分に含まれないが、業績としてふさわしい水準のもの

(注) 本基準の運用については各学科に任せるものとする。

2) 研究業績一覧

学科	著書		学術論文		翻訳		作品演奏		学会記録		口頭発表		その他の 文筆活動		その他		計
	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	
情報処理工学	—	—	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	6
国際文化学科	1	1	4	2	—	—	—	—	2	—	—	—	3	4	—	—	17
計	2		11		—		—		2		—		7		1		23

<研究業績表の見方>

著者・発表者	著書・論文・演題名等		
発行所・掲載誌・学会等	巻・号	ページ	発表形態
概 要			

<研究業績内容>

《情報処理工学》

矢原充敏	自起動可能な CMOS-XOR/XNOR 積分形無安定マルチバイブレータ		
電気学会論文誌	Vol. 132, No. 3	pp. 485-486	学術論文 (和文学会誌)
CMOS-XOR/XNOR ゲートを用いて構成した積分形無安定マルチバイブレータは、自起動することが可能であり、時定数に対する発振周波数の関係も非常に良好である。			
佐々木博敏、Amphawan Julsereewong、磯口博、矢原充敏、藤本邦昭、佐々木博文	CMOS-XOR/XNOR ゲートに基づく微分形動作の単安定マルチバイブレータに関する一提案		
電気学会論文誌	Vol. 131, No. 5	pp. 1079-1080	学術論文 (和文学会誌)
CMOS-XOR/XNOR ゲートに基づく微分形動作の単安定マルチバイブレータは、回路動作が安定で、準安定時間がトリガ周期に影響されないことを明らかにしている。			
佐々木博敏、アムハーワン シュンセリワオン、磯口博、藤本邦昭、矢原充敏、佐々木博文	積分形動作による CMOS-XOR/XNOR ゲートの単安定マルチバイブレータ		
学会	Vol. J94-C, No. 5	pp. 139-142	学術論文 (和文学会誌)
積分形動作による CMOS-XOR/XNOR ゲートの単安定マルチバイブレータは、準安定時間がトリガ周期に影響されることがない。また、提案回路は雑音等の影響を受けにくいことについて明らかにしている。			
佐々木博敏、矢原充敏、藤本邦昭、佐々木博文	A Realization of VCO Based on Bootstrap Circuit For Using Dividing Ratio Changeable Digital PLL		
ICIC Express Letter	Vol. 5, No. 9	pp. 3347-3352	学術論文 (欧文学会誌)
ブートストラップ回路に基づく VCO は、電圧一周波数変換特性が比例関係にあり、分周比可変型デジタル PLL の出力ジッタ改善用の VCO に適した特性を有することについて明らかにしている。			
佐伯修一郎、前田栄一、大柳慎哉、八尋剛規、重枝一郎	学習効果を高める ICT 機器を用いた学習指導の在り方		
福岡市教育センター研究紀要	第 864 号	情 1-22	学術論文 (紀要)
電子黒板の効率的な活用を図るために、電子黒板の特長をいかした学習指導を「習得場面」に焦点化して実施し、その結果、児童・生徒の興味関心を高めたり、分かりやすく効率的に説明したりすることができ、電子黒板の効果的な活用法を明らかにすることができた。			
矢原充敏	電圧制御発振器および電圧制御発振方法		
特許	特許第 4899215 号		その他

《国際文化学科》

大方優子	「地域旅で地域力創造—観光振興と IT 活用のポイント」		
学芸出版社		pp. 30-39	著書 (学術書)
第2章「地域から見たデスティネーションマーケティング」(pp. 30-39) を執筆 (編著者 佐藤喜子光・椎川忍)			
林鐘大	必修日本語表現文型		
		568	著書 (その他)
読解・聴解・会話の文型を集め、韓国人の日本語学習者に分かりやすく解説を加えた日本語の学習書。文型の接続方法に従って詳細に意味が書いてあるので、日本語の作文や会話など、実際日本語を使う時のいい参考になる。			
赤井ひさ子	インドの初等教員養成の変化 - 1980年代と現代に焦点をあてて (Changing Pre-service Elementary Teacher Education in India - In the 1980s and today)		
東海大学短期大学紀要	第45号	pp. 53-39	学術論文 (紀要)
本稿は、初等教育普遍化達成を目前にしたインドの初等教員養成について、1980年代と現代を比較し、その改善の様子を検討した。また、マハーラーシュトラ州での現地調査から、地方都市に位置する初等教員養成機関の在学学生について、高等教育を受ける第一世代が多いことなど、その特徴を考察した。			
大方優子	「旅行先へのリピーターに関する研究—旅行先への愛着形成に関する理論的考察」		
東海大学短期大学紀要	第45号	pp. 1-6	学術論文 (紀要)
旅行先へのリピーターのうち、旅行先に特別な愛着をもつ旅行者をとりあげ、なぜそのような愛着を持つに至ったかについて理論的考察を行った。			
神山高行	『ロミオとジュリエット』における悲劇性—ことばと時間の観点からみた劇作術について—		
東海大学短期大学紀要	第45号	pp. 7-14	学術論文 (紀要)
シェイクスピアの悲劇『ロミオとジュリエット』における悲劇性を演出するものとして、(ジュリエットの年齢も含めた)時間のトリックとことばの観点から登場人物の造形に着目し、シェイクスピアの劇作術について論じた。			
北濱幹士・橋本敏明	「第41回海外研修航海」研修学生の余暇意識研究		
東海大学短期大学紀要	第45号	pp. 15-21	学術論文 (紀要)
「第41回海外研修航海」研修学生の余暇意識の動向を、日常とは大きく異なる生活環境である望星丸の生活より調査した。本稿では、全国の東海大学キャンパス及び短期大学から参加している研修学生をキャンパス別、そして学年別意識の差を明らかにすることを目的とし、それらの分析結果について論じた。			
張 姪娜・徐 桂梅	日中文化における奇数「1」・偶数「2」の相違性の探究		
東海大学短期大学紀要	第45号	pp. 23-30	学術論文 (紀要)
中国の陰陽思想の中核は「一分为二，合二为一」である。つまり渾沌の太極「一」から一陰と一陽の「二」が生まれる。陰と陽は、対立していると同時に統一されたものであると考えている。中国人は上古時代から、天地、陰陽の地数の「二」を重んじ、太極の中の陰と陽の「二」の対称的な美を見て楽しんだ。この対称・対立する「二」が良く調和して「一」に和する、それは「陰陽合一」である。一方、古代日本人は流れるような曲線の輪の「一」を重んじ、対立の「二」を融和した静・柔、混沌の「一」を楽しんだ。それは日本の「陰陽合一」である。			
真下仁・神山高行	短期大学における初年次教育の可能性		
短期大学コンソーシアム九州 紀要「短期高等教育研究」	Vol.2	pp. 15-23	学術論文 (紀要)
短期大学における初年次教育の実情や取り組み、特に導入教育としてのフレッシュマンゼミナールや学生リーダー養成の研修会といった実践例を紹介しながら、短期大学における初年次教育の在り方や問題点、またその可能性について論じた。			
大方優子	「日本におけるDMCの現状と課題」		
韓国日本近代学会第23回国際学術大会講演論文集		pp. 363-369	学会記録 (一般発表)
近年注目を集める着地型観光において、その事業主体となるデスティネーションマネジメントカンパニー (DMC) について、その現状と課題を考察した。			
大方優子	「旅行先へのファン型リピーターに関する考察」		
第26回日本観光研究学会全国大会学術論文集		pp. 41-44	学会記録 (一般発表)
ある特定の旅行先に特別な愛着を持つファン型旅行者に着目し、旅行先への愛着が形成される要因について関連する領域の理論を援用しながら考察した。			
大方優子	「短大生による宗像観光動向実態調査の報告—東海大学福岡短期大学における取組」		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第15号	pp. 31-37	その他の文筆活動
2011年11月に宗像大社で開催された「西日本菊花大会」を対象とした観光動向実態調査を、東海大学福岡短期大学での授業に学外学習としてとり入れ、短大生の視点から、宗像における観光の現状と課題について分析した。			
大方優子	「宗像における観光動向実態調査-2011年宗像大社節分際での調査報告」		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第15号	pp. 39-43	その他の文筆活動
2012年1月に宗像大社で開催された節分祭において、宗像観光協会と東海大学福岡短期大学観光文化研究所が行った観光動向実態調査について、昨年度との比較を交えて調査結果を報告した。			
大方優子他	「スポーツツーリズムの現状と課題 (1) 宮崎県を事例として」		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第15号	pp. 61-65	その他の文筆活動
近年新たな観光の形として注目されているスポーツツーリズムについて、日本における先行事例として宮崎県を取り上げながら、旅行者の立場からその現状と課題を検討した。			
神山高行・真下仁	B部会 初年次・教養教育の共同開発 (主担当校: 東海大学福岡短期大学 副担当校: 精華女子短期大学・西九州大学短期大学部)		
短期大学コンソーシアム九州「平成21年度採択 大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム 最終報告書」		pp. 27-34	その他の文筆活動
平成21年に採択された3年間の連携GP事業 (地域育成に貢献する短期大学の役割と機能の強化のための戦略的短大連携事業) の最終報告書。初年次・教養教育の共同開発の主担当校として3年間の取り組みを報告した。			
宮内順、岩田千鶴子	宗像への旅行者行動に関する調査		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第15号	pp17-23	その他の文筆活動

宗像観光協会の協力で、宗像市内のグローバルアリーナで開催されたラグビージャパントップリーグの来場客にアンケート調査を行った。スポーツ観戦者の旅行者行動を検証することにより、スポーツの観戦だけでなく、宗像の観光を体験してもらうための方策を探ることを目的としたもの。アンケートの結果では、来場者の多くは、試合後はすぐに帰途についており、地域経済への効果は限定的であることが明らかにされた。			
北濱幹士	筑豊における歴史的観光に関する一考察		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第15号	pp.51-54	その他の文筆活動
福岡県において大変重要な意味合いを持っている筑豊地区の石炭産業に纏わる3か所を訪問し、改めて歴史的遺産などを含む筑豊地区の紹介を含み、再活性について示唆した。			
北濱幹士他	スポーツツーリズムの現状と課題(2)ーフェニックス・シーガイア・リゾートを事例としてー		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第15号	pp.67-70	その他の文筆活動
スポーツが観光資源の一つとなっている現状を踏まえ、宮崎県の多目的リゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」に着目し、シーガイア現地での活動、そして訪問する前後でのイメージなどについてまとめた。			

3) その他の社会活動

- a. 専任教職員による官公庁等学外機関、本学園の広報機関等への公的な発表、専門知識や学識経験等を生かした活動

<研究業績表の見方>

発表者・活動者	テーマ・タイトル
	発表・活動の場所もしくは取組名称
	概要

<研究業績内容>

宮川幹平	新しいITの潮流について
福岡県宗像市市民講座 (ルックルック講座)	
現在のインターネットにおける技術革新、情報洪水の現状を概観した上で、新しいITの潮流を「クラウド」「モバイル」「ソーシャル」という三つの視点から、具体的な生活への影響やアプリケーション活用事例を示しながら解説した。	
真下仁	短期大学コンソーシアム九州の発足経緯と活動方針
私立短期大学情報教育協会(平成22年度 短期大学情報教育改革 ICT戦略会議)	
短期大学のみが集結し、結成した、日本で唯一のコンソーシアムの発足経緯と活動の概略から、各短大が取り組んでいる推進事業とそこから見えてくる短期大学の新たな戦略についての提言を行う。	
大方優子	「人はなぜ旅に出るのか?～旅行者行動論入門～」
福岡県宗像市市民講座 (ルックルック講座)	
旅行者の心理や行動について、旅の現状、歴史、心理などの話題を盛り込みながら解説した。	
北濱幹士	英語に触れてみよう
福岡県宗像市市民講座 (ルックルック講座)	
「英語!」「外国語」と捉えず、日常的に使用している「日本語英語」から英語への親しみをもち、学びへと繋げる。(今回は、小学校高学年での外国語必修化に関して河東西小学校教員への教員研修講座)	

- b. 専任教員による研究所・官公庁・民間等の学外機関から委嘱を受け、専門知識学識経験等を生かした公的活動

氏名	委嘱機関名	委嘱内容
八尋 剛規	福岡市教育センター	情報教育研究室 研修会講師
八尋 剛規	福岡市教育センター	情報教育研究室 研究紀要審議講師
八尋 剛規	福岡県立筑豊高等学校	社会人特別講師招聘事業
八尋 剛規	福岡市教育センター	情報教育研究室 検証授業講師
八尋 剛規	福岡市教育センター	1) 研究発表会事前指導、2) 研究発表会指導助言
宮川 幹平	宗像市役所総務部情報政策課	宗像市情報化推進会議委員
西野 仁	福岡女学院高等学校	出張模擬講義 講師
西野 仁	福岡県立ひびき高等学校	「近未来ガイダンス」 講師
真下 仁	宗像市役所 市民協働・環境部	宗像市男女共同参画推進懇話会委員
宮内 順	宗像市教育委員会(郷土文化学習交流室)	宗像市地域学芸員養成講座
宮内 順	株式会社日本サイバー教育研究所	客員教授(サイバー大学世界遺産学部 非常勤)
大方 優子	宗像市(都市建設部都市計画課)	宗像市都市計画審議会委員
北濱 幹士	夢灯籠まつり実行委員会	委員会委員

c. 専任教員による学会等の運営に関する活動

氏名	学会名	委員名
赤井 ひさ子	アジア教育史学会	常任理事

d. 専任教員による外部の大学への非常勤出講

氏名	委嘱機関名	委嘱内容
宮内 順	サイバー大学	非常勤講師 2011. 4. 1～2011. 9. 30 インターネット 春2コマ
矢原 充敏	熊本県立技術短期大学	非常勤講師 2011. 4. 1～2012. 3. 31 通年1コマ
佐竹 則昭	九州共立大学	非常勤講師 2011. 4. 1～2011. 9. 30 春2コマ
八尋 剛規	福岡教育大学	非常勤講師 2011. 4. 1～2012. 3. 31 春2コマ・秋集中1
大方 優子	九州産業大学	非常勤講師 2011. 10. 1～2012. 3. 31 秋2コマ
宮川 幹平	西南学院大学	非常勤講師 2011. 4. 1～2012. 3. 31 通年2コマ

(2) 海外活動

専任教員による海外での活動（講演・調査・研究等）

氏名	目的	期間	国名
大方 優子	学会発表	5月14日～5月16日	韓国
林 鍾大	韓国短期留学打合せ及び下見	6月3日～6月4日	韓国
大方 優子	観光資源調査	6月24日～6月27日	韓国
林 鍾大	韓国短期留学引率	8月3日～8月5日	韓国
赤井 ひさ子	科研費による研究	8月4日～8月20日	インド
吉岡 メリーメレン	研究のための資料収集	8月8日～8月23日	アメリカ
伊原 奉賢	韓国短期留学引率	8月3日～8月8日	韓国
林 鍾大	韓国短期留学引率	8月7日～8月16日	韓国
大方 優子	東北アジア観光学会	8月28日～8月31日	韓国
神山 高行	ハワイ短期留学引率	9月7日～9月20日	アメリカ
赤井 ひさ子	科研費による研究	12月27日～1月8日	インド
林 鍾大	韓国白石大学研修引率	2月6日～2月27日	韓国
張 アンナ	中国短期留学引率	3月4日～3月17日	中国

(3) 科研費応募・採択状況

	応募件数	採択件数
研究代表者分	1（新規1）	1

1) 本学専任教員が研究代表者であるもの

研究課題 地域の初等教育を担う人材の育成：
インド・オスマナバード県を事例とする実証的研究
研究種別 基盤研究（C）
研究代表者 赤井 ひさ子 准教授
補助金額 170万円（平成21：60万円、同22：60万円、同23：50万円）

2) 本学専任教員が研究分担者であるもの

2. 研究のための条件

個人研究費は、研究の活性化および研究費の効率的運用のため、教員全員に一律20万円が配分される。

(1) 研究費

各個人単価 20 万円

(2) 研究に係る経費**2011 年度決算 研究経費**

項 目	情報処理学科	国際文化学科	合 計
用品費	346,540	172,800	519,340
消耗品費	501,772	535,626	1,037,398
図書資料費	79,749	361,864	441,613
旅費交通費	321,890	702,272	1,024,162
印刷製本費	0	12,000	12,000
通信運搬費	10,000	0	10,000
修繕費	0	0	0
貸借費	0	0	0
諸会費	118,350	111,000	229,350
委託費	0	0	0
雑費	0	30,547	30,547
合 計	1,378,301	1,926,109	3,304,410